

今回の執筆者は

おのハートフル歩人会
都筑 英治さん

「ウォーキングと健康」

私は平成13年から「ハートフルウォーキング〜1日1万歩運動〜」に参加しています。その時からボランティア(サポーター)で受付やその他のお手伝いをしていました。

サポーター達が集まって、平成17年「おのハートフル歩人会」が結成されました。これによってウォーキングを主催するようになりました。

このとき、思ったことは、仕事から解放され与生を楽しもうと!そう仕事から解放された、余った人生、余生ではないのです。この与えられた時間を生かす、

与える人生を送りたいものです。
与える人生を送るには、まず健康な体作り、ウォーキングをしよう、足腰のしっかりした体力を作ろうと、はじめました。

この与える人生は、まず生かされている喜びを感じ、感謝の念を持って人と接する事から始まると思います。

このことはボランティア活動と共通するものがあるのではないのでしょうか。

これからの人生、余生ではなく、与生で楽しく、喜んで、生きたいものです。

次は...
楽しいハーモニカサークルの今泉 宏さんへ

みんなの掲示板

託児ルーム「ちびっこバク」 ~ボランティアのパワーとつながり~

ここでは、エクラホールでコンサートを聴かれる方、スタジオでヨガをされる方、アルゴご利用の方、そして、アルシェで市民活動をされている方...などのお子さまをお預かりして、子育て中の方をサポートしています。そこに携わっているのが、「託児サポーター」です。

かわいい天使たちと限られた時間の中でコミュニケーションをとり、信頼関係を築き、安全にお預かりする。そんな託児活動に、最近異変?が...!!それは、サポーターさんと託児ルーム利用の方とのつながりです。何気ない会話の中から子育てのヒントを得たり、同じ立場だから共感し合えることで、「私だけじゃないんだ」という安心感を感じたり、利用される方とサポーターとのつながりが出てきています。



「アルシェキャラクターの愛称が決定!」

アルシェフェスタで募集していたアルシェオリジナルキャラクターの愛称。みなさんからいただいた数々の愛称の中から、委員会で検討した結果...

「アルシェ坊や」に決定しました!
たくさんのご応募、ありがとうございました☆☆
これからは、アルシェレター以外の場所でもどんどん活躍する予定です。よろしくお願いします!

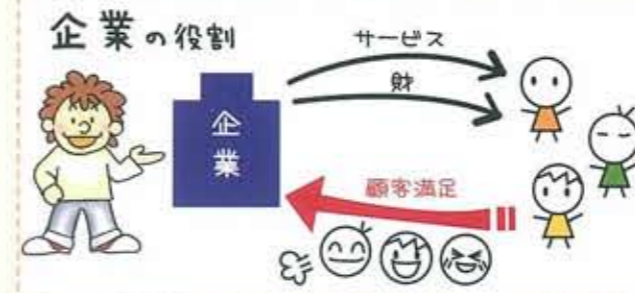


この掲示板に掲載希望の方は広報委員会または事務局まで。

アルシェの知恵袋
「非営利組織が生み出すもの」

「治癒した患者、学ぶ生徒、自立した成人」

再びドラッカーの名著「非営利組織の経営」より。「非営利組織は、政府や企業とは違う何かを行う。企業は財とサービスを供給する。政府はコントロールする。企業は、顧客が買い、払い、顧客のニーズが満たされたとき役割を果たす。政府は、自らの政策が意図した成果をもたらしたとき役割を果たす。非営利組織は、人を変えたとき役割を果たす。非営利組織が生み出すものは、治癒した患者、学ぶ生徒、自立した成人、すなわち変革された人の人生である。」
NPO法人北播磨市民活動支援センター(以下、支援センター)という。)はエクラの指定管理者であり、市民活動の中間支援を



行う非営利組織であることは皆が知るところだけれど、ドラッカーによれば、支援センターもまさに「治癒した患者、学ぶ生徒、自立した成人」を生み出している。

例えば、エクラホールに音楽の演奏会を聞きに来た若い母親がいるとき、併設された託児所を利用することによって、幼子の世話から一時、解放されて、思い存分演奏会を楽しむことが出来、日頃の育児の疲れを忘れることとなり、ストレスを追いやる事が出来る。「治癒」されたと言えるだろう。

若い母親が癒され、学生が集う場所

「私にも何かできるかも」
アルシェはいろんな事業を開催することによって市民活動の担い手を育てている。「あなたの時間をほんの少し、あなた以外の人のために使ってみませんか」というメッセージを込めて。
治癒された患者や学ぶ生徒がある時、ふと、「私にも何かできるかも」と思い、エクラの受付に「あのー、私にも何か、手伝わせて下さい」と訪ねてきてくれる日を信じて。

土井 嘉彦(どい よしひこ)
小野市在住の公認会計士。神戸大学出身。NPOの会計を熟知している数少ない会計士。NPOを自立させるための活動にも力を注いでいる。